

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京医薬専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	くすり総合学科 (2年制)	夜・通信	3720	80×2=160時間	
	IT 医療事務総合科 (2年制)	夜・通信	1815	80×2=160時間	
	化粧品総合学科 (2年制)	夜・通信	1845	80×2=160時間	
	言語聴覚士科 (3年制)	夜・通信	2550	80×3=240時間	
	視能訓練士科 (3年制)	夜・通信	1980	80×3=240時間	
	臨床工学技士科 (3年制)	夜・通信	2595	80×3=240時間	
	救急救命士科 (3年制)	夜・通信	3180	80×3=240時間	
	視能訓練士科 1年制	夜・通信	1260	80×1=80時間	
	医療事務科 (1年制)	夜・通信	780	80×1=80時間	
	歯科衛生士科 I 部 (3年制)	夜・通信	2610	80×3=240時間	
	歯科衛生士科 II 部 (3年制)	夜・通信	2475	45×3=135時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/ 学科毎にPDFで掲載
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京医薬専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上で公開する
<https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	玉川グループ代表	2019. 4. 1 ~ 2021. 5. 31	地域との連携
非常勤	(株)日本医歯薬研修協会 代表取締役社長	2018. 6. 1 ~ 2021. 5. 31	適切な情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京医薬専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【対象学科】くすり総合学科、IT医療事務総合学科、化粧品総合学科、言語聴覚士科、視能訓練士科、臨床工学技士科、救急救命士科、視能訓練士科1年制、医療事務科、歯科衛生士科Ⅰ部、歯科衛生士科Ⅱ部(夜間)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目について、毎年度、教育課程編成委員会における意見と学科会議での意見を反映させ、対象学生の状況を考慮しつつ、担当教員が作成している。</p> <p>シラバス作成マニュアルを教員に配布し、科目名、学科・コース、必修選択別、授業形態、年次、総時間、担当教員、開講区分、学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、評価、特記事項と担当教員の授業計画と思いが伝わるシラバスの作成をしている。シラバスは、全学科共通の様式で行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>12月～1月に掛けて担当教員が作成し、全シラバスの提出、内容をチェックし、修正完了後、学生配付用の冊子印刷とHPの専用ページでの公開を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	掲載： https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験により、成績評価を行っている。</p> <p>(参考)</p> <p>学則第13条</p> <p>授業科目の成績評価は、学年末、各学期末に行う定期試験(論文・レポートなど含む)、平素の学習状況(小テスト、中間試験、臨時試験含む)、出席状況の3要素で総合的に勘案して評価する。評価は、「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階をもって評価し、「F」を不合格、その他「D」以上を合格とする。ただし、授業科目によっては、教育効果を考慮し、これら以外の表記で成績を表すことができる。定期試験方法、評価方法の詳細は、別に定める。</p> <p>第2項 第1項の成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、評定平均値(Grade Point Average)以下「GPA」を用いる。なお、GPAの算出方法、該当科目など詳細は別に定める。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学内の細目において、GPA (Grade Point Average) を導入し、成績評価として使用している。GPAは生徒の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。本校では、就職の学内推薦枠の候補者選定や独自奨学金、学業優秀者の表彰優秀者の候補選出に活用している。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに実施する小テストまたは中間試験、定期試験、平素の学習状況、出席状況の要素で総合的に勘案して評価します。各授業の評価は、100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90をA、89～80をB、79～70をC、69～60をDとして、成績が通知される。各授業の成績評価を規定の数値に置き換えて、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績は、A (4.00)、B (3.00)、C (2.00)、D (1.00) に換算する。GPAは、(該当授業科目の単位数×各授業科目で得たGP) の合計/当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計で算出する。成績評価方法は、HPにて「成績評価について」で詳細を公開する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>掲載：https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京医薬専門学校は、「医療」にかかわる人材を育成しており、私たちの取り組む「医療」は、単に病院や診療施設だけでなく、人間の健康を考える観点から、医薬品から環境問題まで含んだ人材養成を目的としています。</p> <p>卒業要件は、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次にすべて合格する事を定めています。詳細については、ディプロマ・ポリシーをはじめ、学則、学則施行細則、学生便覧等に記載している。</p> <p>本校では、卒業認定の方針を策定し、HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>掲載 https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京医薬専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/
収支計算書又は損益計算書	https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/
財産目録	https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/
事業報告書	https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/
監事による監査報告（書）	https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

くすり総合学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	くすり総合学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1890 単位時間/単位	1725 単位時間/ 単位	705 単位時間/ 単位	1380 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		99人	13人	3人	16人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。個別面談のほか、カウンセリング、3者面談の実施など、学生に合わせたプログラムを立てて対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	2人 (6.1%)	28人 (84.8%)	3人 (9.1%)
（主な就職、業界等） ドラッグストア、保健調剤薬局、製薬会社、動物試験機関、公的研究所 など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 登録販売者、漢方養生指導士初級、有機溶剤作業主任者、特定化学物質及びアルキル鉛 等作業主任者、調剤報酬請求事務専門士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85 人	8 人	9.4%
(中途退学の主な理由) 目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。		

IT 医療事務総合学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	IT 医療事務総合学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間／単位	510 単位時間／ 単位	1140 単位時間／ 単位	210 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		40人	2人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。個別面談、カウンセリング など実施し、個別支援を行っている。長期欠席者に向けては、個別プログラムを設定 し、対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (%)	21人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 大学病院、総合病院、一般病院、クリニック、調剤薬局			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定2・3級 医事コンピュータ検定2・3級、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

30人	1人	3.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、生活習慣</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。</p>		

化粧品総合学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	化粧品総合学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2085 単位時間／単位	795 単位時間／ 単位	300 単位時間／ 単位	1020 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		100人	6人	5人	27人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。個別面談のほか、カウンセリング、3者面談の実施など、学生に合わせたプログラムを立てて対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	3人 (8.6%)	28人 (80.0%)	4人 (11.4%)
（主な就職、業界等） 化粧品会社、原材料会社、受託生産会社（OEM）、美容関連会社			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 化粧品総括製造販売責任者、日本化粧品協会、化粧品成分協会、有機溶剤作業主任者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95人	11人	11.6%

(中途退学の主な理由)

目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、実習不適用、体調不良

(中退防止・中退者支援のための取組)

個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。

言語聴覚士科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	言語聴覚士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2835 単位時間/単位	2160 単位時間/ 単位	195 単位時間/ 単位	480 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		137人	0人	6人	28人	34人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期の個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期の個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	0人 (%)	29人 (64.4%)	16人 (35.6%)
（主な就職、業界等） 総合病院、リハビリテーション専門病院、老人保健施設、小児関連施設 補聴器メーカー など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
144 人	4 人	2.8%
(中途退学の主な理由) 目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、生活習慣		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。		

視能訓練士科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	視能訓練士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2595 単位時間／単位	1335 単位時間／ 単位	150 単位時間／ 単位	1110 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		114人	0人	6人	32人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期的個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	0人 (%)	31人 (96.9%)	1人 (3.1%)
（主な就職、業界等） 大学病院（眼科）、総合病院（眼科）、眼科専門病院、眼科医院 など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士、生理光学検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

112 人	5 人	4.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、実習不適応</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。</p>		

臨床工学技士科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学技士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2595 単位時間／単位	2040 単位時間／ 単位	45 単位時間／ 単位	510 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		114人	0人	5人	22人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期的個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (%)	31人 (86.1%)	5人 (13.9%)
（主な就職、業界等） 大学病院、公立病院、民間病院、医院における臨床工学技士採用			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床工学技士、第2種ME技術実力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

113 人	2 人	1.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、発達障害、学習障害</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。</p>		

救急救命士科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3180 単位時間／単位	915 単位時間／ 単位	1140 単位時間／ 単位	1125 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		133人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期的個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (%)	38人 (92.7%)	3人 (7.3%)
（主な就職、業界等） 消防機関、防衛省、海上保安庁、民間病院（救急救命センター、救急外来） 民間救急患者搬送会社 など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施、公務員試験対策 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士、JPTECプロバイダー、JPTECファーストレスポonder 応急手当普及員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
132 人	4 人	3.0%
(中途退学の主な理由) 目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。		

視能訓練士科 1 年制

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	視能訓練士科 1 年制	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1470 単位時間/単位	735 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	735 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		31 人	0 人	3 人	27 人	30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照
学修支援等
（概要） 担任制により、学生 1 人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期的個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (91.2%)	3 人 (8.8%)
（主な就職、業界等） 大学病院（眼科）、総合病院（眼科）、眼科専門病院、眼科医院 など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	1 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。		

医療事務科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療事務科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	840 単位時間/単位	270 単位時間/ 単位	570 単位時間/ 単位	120 単位時間/ 単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		35人	0人	1人	13人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。個別面談のほか、カウンセリング、3者面談の実施など、学生に合わせたプログラムを立てて対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (100%)	0人 (%)	44人 (93.6%)	3人 (6.4%)
（主な就職、業界等） 大学病院、総合病院、一般病院、クリニック など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療秘書技能検定2・3級、医事コンピュータ検定2・3級、サービス接遇検定 ビジネス文書検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

51人	4人	7.8%
<p>(中途退学の主な理由) 目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、生活習慣</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。</p>		

歯科衛生士科 I 部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科 I 部	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2610 単位時間／単位	1170 単位時間／ 単位	540 単位時間／ 単位	900 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		126 人	0 人	4 人	44 人	48 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生 1 人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期的個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40 人 (100%)	0 人 (%)	32 人 (80.0%)	8 人 (20.0%)
（主な就職、業界等） 歯科医院、歯科大学・医科大学付属病院、総合病院（歯科）、企業内歯科室 歯科診療所、保健所、保健センター、口腔保健センター、高齢者施設、障害者施設 歯科関連企業、歯科衛生士養成校 など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士、口腔ケア 5 級認定資格、上級救命講習			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126 人	4 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患、人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。		

歯科衛生士科Ⅱ部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科Ⅱ部	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2475 単位時間／単位	1155 単位時間／ 単位	420 単位時間／ 単位	900 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位	0 単位時間／ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		68人	0人	4人	44人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照 学修支援等
（概要） 担任制により、学生1人ひとりへの支援を強化している。毎授業ごとに小テストを実施し、理解度の確認を行っている。定期的個別面談を実施し、進路指導、実習相談などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (%)	11人 (73.3%)	4人 (26.7%)
（主な就職、業界等） 歯科医院、歯科大学・医科大学付属病院、総合病院（歯科）、企業内歯科室 歯科診療所、保健所、保健センター、口腔保健センター、高齢者施設、障害者施設 歯科関連企業、歯科衛生士養成校 など			
（就職指導内容） 求人情報の提供、履歴書添削、面接指導、模擬面接会の実施 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士、口腔ケア5級認定資格、上級救命講習			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	2 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 目標設定不足、進路変更、経済的危機、精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、保護者会実施、カウンセリング機関との連携を図り、中退防止を図っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
くすり総合学科	100,000 円	846,000 円	255,000 円	
IT 医療事務総合学科	100,000 円	846,000 円	204,000 円	
化粧品総合学科	100,000 円	846,000 円	255,000 円	
言語聴覚士科	100,000 円	1,183,000 円	255,000 円	
視能訓練士科	100,000 円	1,183,000 円	234,000 円	
臨床工学技士科	100,000 円	1,275,000 円	234,000 円	
救急救命士科	100,000 円	1,000,000 円	255,000 円	
視能訓練士 1 年生	100,000 円	1,183,000 円	255,000 円	
医療事務科	100,000 円	693,000 円	204,000 円	
歯科衛生士科 I 部	100,000 円	816,000 円	234,000 円	
歯科衛生士科 II 部	100,000 円	612,000 円	204,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。 委員会は、毎年実施し、その結果を理事会に報告するとともに、情報公開規定に基づき学内外に開示するものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
総合病院 事務員	2020年4月1日～ 2022年3月31日	業界関係者
株式会社 人材担当	2020年4月1日～ 2022年3月31日	業界関係者
総合病院 事務員	2020年4月1日～ 2022年3月31日	業界関係者
学校歯科医会 理事	2020年4月1日～ 2022年3月31日	業界関係者
医療事務科 保護者	2020年4月1日～ 2022年3月31日	保護者代表
病院 事務員	2020年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生代表
高等学校 職員	2020年4月1日～ 2022年3月31日	高等学校代表
町会 役員	2020年4月1日～	地域関係者

	2022年3月31日	
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcm.ac.jp/school/education-support/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
平成27年3月31日に実施済み		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcm.ac.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。